



## 大図研関西 3 地域グループ合同例会のご案内

～海外と日本の動向から見直す～

### オープンアクセス・オープンサイエンスと私の関係

現在、オープンアクセスは日本を含む各国の政策で提唱されています。オープンアクセスは学術情報の流通全体に関わる複雑なテーマであり、その担い手として大学図書館でも主体的に取り組むことが求められています。そこで、今回の合同例会では、現在のオープンサイエンスを含めた国内外の動向を考察し、議論する機会といたします。

参加者のみなさまが現場でのヒントを得、また学術情報流通における今後の大学図書館の役割を考える契機となれば幸いです。

※今回は施行としてオンラインでも視聴・参加もできるようにいたします。実験的な試みのため、上手く配信できない場合もあることをご了承の上 お申込みください。

会 場：関西学院大学大阪梅田キャンパス 1004 教室（梅田アプローズタワー10 階）

[http://www.kwansei.ac.jp/kg\\_hub/](http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/)

日 時：2017 年 3 月 4 日（土）14:00-17:30

内 容：

報告（坂本拓氏、花崎佳代子氏、加川みどり氏）

ディスカッション（コーディネーター：土出郁子氏）

参加費：無料（どなたでもご参加いただけます）

懇親会：18:00-：実費負担あり、4,000-5,000 円程度を見込んでいます

お申込：2 月 25 日（土）までに、下記サイトにてお申し込みください。

<http://kokucheese.com/event/index/451004/>

#### [目 次]

大図研関西 3 地域グループ合同例会のご案内	…	1
第 48 回全国大会（京都大会）のご案内	赤澤 久弥	… 2
グループ委員挨拶	…	4
会費納入のお願い	…	8

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：[kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com)（大学図書館問題研究会京都地域グループ）

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

---

## 第 48 回全国大会(京都大会)のご案内

赤澤 久弥

---

2017 年の全国大会が京都で開催されます。日程は 9 月 9 日(土)から 11 日(月)、会場は同志社大学新町キャンパスです(末尾案内参照)。詳細のお知らせは今春ごろの予定ですが、各日のプログラムは例年に準じた構成になる見込みですので、今からお心積りいただければと思います。

さて、今回の京都大会は、実行委員会方式で開催されることになっており、私は実行委員長を務めることになりました。そこでこの場を借りて、まずは京都地域グループの皆様へのご挨拶とともに、開催のご案内を差し上げる次第です。また、実行委員会は有志で組織されるものですが、既に京都地域グループ委員全員がメンバーに加わっています。詳しくは「大学の図書館」2016 年 10 月号に、全国委員の長坂さん(実行副委員長)による全国の会員へ向けて京都大会を案内する寄稿が掲載されていますのでご覧ください。

ところで、次回の全国大会は第 48 回となります。大学図書館問題研究会ウェブページの全国大会記録を見ると、京都での全国大会は第 7 回(1976 年)、第 15 回(1984 年)、第 31 回(2000 年)、第 43 回(2012 年)に開催されています。そして、京都支部が企画運営を担当した第 43 回大会以降は、毎回、常任委員・大会実行委員会が担当しています。こうした記録からは、大図研の積み重ねてきた歴史、そこでの京都地域グループの活動の一端が窺えます。また、大会実行委員会方式には、その積み重ねの上に新たな体制を構築しつつある近年の大図研のあり方が反映されているように思われます。

私事ながら、大図研の活動に始めて参加したのが、職場の先輩に誘われて参加した第 31 回全国大会でした。大図研に縁あってその後は毎年大会に参加していますが、そこでの新たな人との出会いはもとより、開催地の大学や図書館、そして土地柄を知ることができた機会として、毎回の大会が思い出に残っています。また、近年は大図研の運営をお手伝いする機会もいただけていますが、そこでは参加する以上の刺激をもらっています。

ともあれ、数年ぶりに京都で開催される全国大会です。普段は遠方で参加できない方には、ぜひこの機に会場に足をお運びいただければ幸いです。そして、全国大会をはじめとする大図研の活動は、会員が作っていくのが特徴です。大会実行委員会はもちろん、京都地域グループ委員会もいっしょに活動してくださるメンバーを歓迎しますので、お気軽にお声かけください。

それではこれから大会実行委員会一同、充実した大会になるよう準備を進めていきます。皆様のご参加をお待ちしています。

第 48 全国大会ウェブサイト

[http://www.daitoken.com/research/annual\\_conference/2017/](http://www.daitoken.com/research/annual_conference/2017/)



日程：2017 年 9 月 9 日（土）～11 日（月）

場所：同志社大学 新町キャンパス 臨光館

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル近衛殿表町 159-1

地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩 10 分

バス停「上京区総合庁舎前」から徒歩 3 分



あかざわ ひさや（京都大学附属図書館）

## グループ委員 挨拶

大図研の年度は7月で替わります。2016年度の開始に伴いまして、グループ委員を務めさせていただきます11名よりご挨拶させていただきます。例年、新年度開始に伴って支部委員挨拶を支部報に掲載していますが、セミナー参加報告記事やその他お知らせを優先したため、今号での掲載となりました。

今年度も新しいメンバーを迎え、より一層京都地域グループを盛り上げていきます。これからも大図研京都地域グループをどうぞよろしく願いいたします。

### ● 研究企画 / 支部報印刷と発送 (安東 正玄)

大図研に入ってまだ7年目ですが、ぼちぼち古株になってきました。

最近改めて、「図書館概論」を読む機会があり、「図書館員の倫理綱領」(日本図書館協会1980年6月4日総会決議)が紹介されていました。その中の「第6 図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。」項目には、

図書館員が専門性の要求をみたすためには、(1)利用者を知り、(2)資料を知り、(3)利用者と資料を結びつけるための資料の適切な組織化と提供の知識・技術を究明しなければならない。そのためには、個人的、集団的に日常不断の研修が必要であり、これらの研修の成果が、図書館活動全体を発展させる専門知識として集積されていくのである。その意味で、研修は図書館員の義務であり権利である。したがって図書館員は、自主的研修にはげむと共に研修条件の改善に努力し、制度としての研修を確立するようつとめるべきである。

とあり、改めて大図研の重要性を認識しました。

特に、私立大学では、図書館員の前に、大学職員であることが重要視される傾向がありますが、この「個人的、集団的に、不断の研修につとめる」は大学の図書館以外どの部署でも明記はされていません。その意味では、図書館員の社会的責任と誇りを感じている今日この頃です。

あんど う せいげん (立命館大学法学部事務室)

### ● Web サイト・ML / 組織・財務 / 「大学の図書館」編集 (金森 悠一)

2010年4月から大学図書館勤務をはじめ、同年7月より支部委員を務め、気がつけば6年が過ぎました。小規模な大学なので未だ一番下っぱで、もちろん異動もなく、多少の増減はあれど業務の変化はほとんどない日々を送っています。

そんな私ですが、昨年度は人生の一大イベントで1年があつという間に過ぎていきました。やっと落ち着いてきたかな、と思ったところで今年度も大きな変化が起こりそうな予感を抱きながら日々過ごしています。

そんな中、久々に情報処理技術者の試験を受けてきました。今年の4月に開始された情報セキュリティマネジメントです。試験自体は午前も午後も9割以上とって楽々合格でしたが、勉強の過程でセキュリティ意識を高めるよい機会となりました。セキュリティインシデントはPCを使って業務をする以上、避けて通れるものではありません。この試験は情報システムの利用者向けの試験ですので、みなさんもよかったら受けてみませんか？

…全然大図研に関係無い話ばかりで申し訳ありません。組織としては支部から地域グループへの変更はありましたが、自分は今年度も昨年度に引き続き同様の業務を担当いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

かなもり ゆういち (京都教育大学附属図書館)

● グループ代表 / 支部報編集 / 「大学の図書館」編集 (坂本 拓)

昨年度に引き続き、京都地域グループ代表をさせていただき、京都大学の坂本です。

2016年度より大図研の組織体制が、支部制からグループ制へと移行するため、長年愛着を持って用いてきた「京都支部」という名称が「京都地域グループ」へと変わりました。

「京都支部」でなくなったことに一抹の寂しさを感じている方もいらっしゃるかと思いますが、より良い大図研へと変わるための新しい1歩でありますので、「京都地域グループ」という名称にまた以前以上の愛着を皆さんに持っていただけるように、積極的に活動していきたいと思っております。

そして、2016年度は名称の変更だけでなく、京都での全国大会開催という非常に大きなイベントがあります。前回5年前の京都での大会では、大変たくさんの方におこしただき、また、新しく多くの方に会員になっていただき、とても充実した大会でした。今年はそれに負けない大会にできるように、グループ委員の皆様とともに頑張っていきたいと思っております。「京都地域グループ」をどうぞよろしくお願いいたします。

さかもと たく (京都大学附属図書館)

● Webサイト・ML / 広報・デザイン / 「大学の図書館」編集 (寺升 夕希)

大図研のあり方が大きく変わり、支部という名称からグループと名を改めました。引き続きグループ委員として、Webサイトおよびメーリングリスト、広報・デザインを担当することになりました滋賀医科大学附属図書館の寺升と申します。

Webサイトの運営、メーリングリストの管理では、迅速かつ正確な情報提供を目指します。広報・デザインでは、京都地域グループで開催するセミナーや講演会について、チームとして皆さまの印象に残るようなお知らせを心がけていきたいと思います。(少しでも参加者が増えるととても嬉しいです)

まだまだ他の委員の皆さんに助けられてばかりですが、「伸び代」と思っていて見守っていただけると幸いです。本年もよろしくお願いいたします。

てらます ゆうき (滋賀医科大学附属図書館)

● 副グループ代表 / 支部報編集 / Twitter (長坂 和茂)

私事……いや、公事ですが、この4月から、所属する係の名前が変わりました。これまで「雑誌情報掛」だった名前が「電子リソース掛」となりました。実質的にやっている仕事はあまり変わっていないのですが、これからのことを考えた時に、電子リソース

に関する仕事の方がメインになっていく、ということの表れなのでしょう。

電子リソースをどのように整理し、どのように利用者に提供するか、ということは、まだ全国的に統一的な手法が確立されたとは言えない状況です。今後電子リソースを主として扱うようになったときに、図書館がどのような役割を果たしていくのか、考える必要があるかと思っています。

大図研京都支部も今年度から京都地域グループに名前が変わりました。大図研京都支部改め京都地域グループはこれからも京都の大学図書館員の皆様の活動の基盤として積極的に活動を進めていきますので、会員の皆様にもご協力いただければと思います。

それでは、どうぞよろしく願いいたします。

ながさか かずしげ (京都大学附属図書館)

● 副グループ代表 / 組織・財務 (野間口 真裕)

早いもので、京都支部で支部委員 8 年目となりました。今年度も組織財務の主担当を継続させていただくこととなりました。

昨年度は地域グループへの移行のため、規約の変更や予算などにつきまして様々なご協力本当にありがとうございました。リニューアルした京都地域グループ、今年度も色々ありそうです！引き続きどうぞよろしく願いいたします。

のまぐち まさひろ (京都大学北部構内事務部)

● メールマガジン / 広報・デザイン (原 健治)

別府の様々な温泉に入浴してスタンプを集める「別府八湯温泉道 (<http://onsendo.beppu-navi.jp/>)」に挑戦していますが、先日ようやく四段 (32湯) を獲得しました。実際に入浴してみますと、ホテルや旅館の温泉、別府市営の浴場、地域の組合が管理している温泉、喫茶店やお寺や競輪場が運営している温泉など様々です。それぞれが利用対象・運営母体・サービス形態の違いこそあれ、利用者に素晴らしい温泉を提供するために日々努力をされています。

大学図書館と一口にいても規模や利用形態により様々です。私立大学では特に職員数の削減による図書館組織の弱体化で大学図書館が行う事業そのものも岐路に立たされている事を、様々な図書館組織の会合で痛感されます。

大学図書館においても、組織の違いを超えて、別府温泉のように全体が盛り上がるようなコミュニティが形成されるように努力すべきですし、大図研がその一つのチャンネルとして機能できればと思っています。

はら けんじ (同志社大学図書館)

● 支部報編集 / 「大学の図書館」編集 (森 彩乃)

この度地域グループ委員に加えていただき、支部報編集を担当することになりました。

私は 2012 年の京都開催の全国大会に参加して、京都支部の活発な活動や勢いのある雰囲気の魅力を感じて京都支部に加えていただきました。これまでそうした場・雰囲気の中なかで皆さんとの交流や情報交換を楽しんできましたが、これからは加えて、地域グループ委員として魅力ある京都地域グループの運営に貢献していきたいと思っています。

普段は名古屋におりますので、若干遠方で思うように活動できないことも多いですが、自分のできることを考えて行動していく所存です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

もり あやの (名古屋大学附属図書館)

● 広報・デザイン / 「大学の図書館」編集 (山形 知美)

今年度、地域グループ委員をさせていただくこととなりました。勤め先は北海道で遠方なのですが、そんな私を受け入れてくださる京都地域グループの懐の深さ、会員のみなさまとの繋がりや温かさにいつも励まされ、活動を続けることができています。

広報・デザイン、また「大学の図書館」編集担当として、1人でも多くの方に大図研の活発な活動を知っていただけるよう努めたいと思います。

職場でも広報系業務を担当しており、「伝える」ことの難しさには日々悩みが尽きません。ここで得たヒントやノウハウを大図研にも職場にも還元できるようになること、をこっそり裏目標に掲げつつ、1年間頑張ります。

どうぞよろしくお願いいたします。

やまがた ともみ (北海道大学附属図書館)

● メールマガジン / Web サイト・ML (山上 朋宏)

支部の運営に携わせていただいて4年目になります。昨年度に引き続きメールマガジンと Web サイト・ML を担当いたしますので、HPやメールマガジンの内容について、ご意見・ご要望等があれば、お寄せ頂けると幸いです。

2017年には、京都で大図研全国大会が開かれます。思えば社会人になって最初の年に先輩に依頼され、京都大会で撮影係を担当したことが大図研との関わりの初めでした。縁あって、翌年から支部委員を務めさせていただきましたが、支部の活動を通して、多くの経験をさせて頂いたことに感謝しています。再び京都で全国大会が開催される今年には初心に立ち返り何事にも積極的に取り込んでいきたいと思っておりますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

やまがみ ともひろ (京都大学経済学研究科・経済学部図書室)

● 支部報印刷・発送 / 研究企画 (山下 ユミ)

大図研に入会してもう10年くらいになりますが、各種のイベントや委員会で、他大学の図書館員の皆さんと情報交換するひとときは、いつもとても楽しく、狭くなりがちな視野を広げてくれるすばらしい時間です。大図研を通じて、皆さんとお話できることにとても感謝しています。支部委員としては、今年も、京都地域グループのグループ報を、いつも皆さんに発送する作業を担当します。来年の京都での全国大会に向かって、いろいろな情報をお届けしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

やました ゆみ (京都府立医科大学附属図書館)

◇ 会費納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館問題研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館問題研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

また、地域グループ(従来 of 支部)に所蔵される方は、地域グループ費と合わせてご納入いただくことになっています。

**会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)です。**

**【振込先】**

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019

■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキュー店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館問題研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)まで。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。